

(一般質問)

質問日	令和5年9月29日(金)		質問方式	分割方式			
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	44	氏名	渥美 誠
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 異常気象に伴う統括的災害対策について	<p>昨年9月、本年6月の度重なる豪雨により、甚大な人的、物的被害が発生し、北区では尊い人命までもが失われた。こうした被災状況の中、一刻も早い生活再建が必要であるが、災害対応時は様々な課題がある。さらには、今後、これまで以上に市民生活の脅威となる被災が想定され、南海トラフ地震も危惧される。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 障害物除去に係る情報共有と専門チームの設置について伺う。</p> <p>(2) 国土強靱化における流域治水の取組について伺う。</p>						石田危機管理監 伏木土木部長
2 中山間地域における効果的な道路斜面对策について	<p>近年の豪雨災害の激甚化、頻発化による土砂崩れや路肩崩壊等が道路通行止め措置につながり、中山間地域のコミュニティーにも大きな影響を与えるため、事前の道路斜面对策が極めて重要となる。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 道路斜面对策の進捗と市道等の斜面对策の推進について伺う。</p> <p>(2) 航空レーザ測量データの活用について伺う。</p>						伏木土木部長
3 第3次中山間地域振興計画策定について	<p>地域住民のニーズに基づき行われてきた本振興計画も策定から14年が経過した。中山間地域の課題と正面から向き合い、条件不利地域であっても懸命に生活の場と認め、自然と対峙する変わらぬ日々がある。現在、新たに第3次計画策定に向け、検証、検討が行われている。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 地域住民の意見の反映と地域課題の重要性について伺う。</p> <p>(2) 重点方針の「人の流れ」「暮らし」について伺う。</p> <p>(3) 過疎対策事業債の活用と今後の対応について伺う。</p>						新谷市民部長
4 二俣城跡・鳥羽山城跡整備計画について	<p>本市は、二俣及び鳥羽山の2つの城跡を、天竜川流域の城跡群の中心的な対象と位置づけ、遺構の適切な保存と地域資源活用を事業化し、平成30年に両城跡が国の史跡に指定された。こうした経過の中、現在、第1期計画期間となっている。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 計画策定時の課題の検証と検討について伺う。</p> <p>(2) 公園機能と城跡価値の具体的な方向性について伺う。</p> <p>(3) 自然災害への防災対策について伺う。</p>						中野市長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
5 持続可能な森林・林業構築への取組について	<p>近年、集中豪雨による林道災害が大規模化する中、道路部局とも連携した形での早期復旧が必要と考える。</p> <p>また、森林に対する意識、興味の低下を防ぐため、天竜美林の価値を高める取組が必要であり、加えて、林業が生業として成り立つための取組として、東京五輪関連施設での天竜材（F S C 認証材）使用に続く、さらなる天竜材の販路拡大の取組が必要と考える。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 大規模化する林道災害への対応について伺う。</p> <p>(2) 天竜美林の価値創出に向けた新たな取組について伺う。</p> <p>(3) 東京五輪関連施設に続き、さらなる天竜材販路拡大への取組について伺う。</p>	清水農林水産担当部長
6 使用済紙おむつの再資源化について	<p>本市の使用済紙おむつの排出量は、家庭系12000トン、事業系4500トンと推計されているが、高齢化社会の進展に伴い、今後、さらに増加することが見込まれる。</p> <p>こうした中、環境、エネルギー、資源など様々な分野をテーマに首長へ直接提案する「スタートアップ・パブリックピッチ2023in遠州」が8月4日に開催され、紙おむつ再資源化の提案があった。</p> <p>また、8月9日には、環境省が「使用済紙おむつの再生利用等の促進に関するプロジェクト」の検討結果を公表し、2030年度までに、使用済紙おむつの再資源化への取組の実施、検討を行う自治体の総数を100とする目標を掲げた。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 使用済紙おむつの再資源化に期待する効果と課題について伺う。</p> <p>(2) 本市における現状と今後の取組について伺う。</p>	山田環境部長